

令和7年度第3回亀岡市まちづくり協働推進委員会 会議要旨

日時：令和7年10月24日 10:00～12:00

場所：亀岡市役所 302・303会議室

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 協議

(1)亀岡市まちづくり協働推進実施計画について

○事務局

- ・意見まとめについて説明
- ・重点課題（案）について説明
- ①市民活動の担い手育成
- ②かめおか市民活動推進センターの充実
- ③活動資金調達について

○委員長

前回の会議では、ワークショップ形式で皆さん積極的にご参加いただいた。そのあと、事務局と委員長の私と副委員長、かめおか市民活動推進センターの委員5で、オンラインで、振り返りのミーティングをして、事務局でまとめた重点課題の項目を協議して、今日提案している。ワークショップで出された意見のまとめを含めながら、具体的な重点課題の事業についてもこれから考えていきたい。8年度以降実施事業として本日及び次回の意見も踏まえて、優先順位をつけながら取り組んでいくことになる。

○委員長

今日ここで、何か具体的に決定しなければならないことはないが、概ねこの「重点課題（案）」の方向で、次年度以降、優先順位をつけながら、ということをご了解いただきたい。具体的にこんな事業をしていったらどうだろうというふうな、前回出していただいた人材バンクとか、スター輩出などいろいろありますけれども、これは、こういう活動を大事にして欲しいとかですね、ご意見ありましたら、遠慮なく質問を含めてお伺いしたい。加えて、オンラインで会議したときに、まず何が大事だろうというところでは、この2番目のかめおか市民活動推進センターの充実活性化というのが、とても重要だと話をした。

○委員1

かめおか市民活動推進センターの充実は非常に大切だと思う。また、学生の参加促進という観点から、参加するメリットが明確であれば呼びかけやすくなる。以前はボランティア証明

書の発行もありましたし、企業との接点も一つのメリットになると思う。活動を通じて「持ち帰れる何か」をより明確にすることも重要ではないかと感じた。

○委員2

学生のメリットについては、私どもの取り組みがまさに合致している。「普段関わることのない企業や自治体と繋がるチャンスが得られる」ことを売りにしつつ、「360度かわいがられる人間になって、社会でたくましく生きていける人材になろう」という無償講座を実施している。

私たちが運営するプラットフォームは、学生が会員登録し、市民団体・自治体・企業が登録してデータベースとして活用できる仕組みだ。「パソグラ」から「アイル」というサービスに変更し、約6年間研究を継続している。京丹波町が登録しており、学生リーダーが企画した山中での1泊2日イベントに約20名が参加した実績もある。

学生の出口として重要なのは「スターの輩出」だ。青のたすきさんが共感大賞を受賞したが、市民活動推進として表彰する仕組みや、活動を続けることで得られる出口（報酬・表彰等）を用意することが必要だ。表彰の基準も明確にすべきだと思う。共通プラットフォームで活動経過を報告・拡散できる仕組みを作り、ファンが多い団体を表彰するなど、拡散効果・集客効果・出口をリンクさせることが有効だと思う。

○委員長

担い手育成において、前回のミーティングでは学生に焦点が当たった。委員2の取り組みをヒントにしながら進めたい。対象となる学生は、京都先端科学大学の学生のほか、京都市内に通学している亀岡在住の学生も多くいる。

○委員2

場所的にアクセスも良いため、京都の大学の学生も十分呼べると思う。プラットフォームは高校生以上から登録可能で、活動履歴を個人の記録として蓄積できる。企業からのスカウトやオファーを受けられる仕組みも構築しており、これが学生の出口の一つになっている。学歴だけでなく、地道な活動を通じた実績が企業との繋がりに活かせるというのが私たちのやり方だ。

○委員長

就活の評価基準が大学のランクだけでなく人物重視になってきており、学生時代のボランティア活動が評価対象になっている。「就活に有利」というのは説明しやすいメリットの一つだ。できれば亀岡からは反骨精神のある学生が育ってほしく、ボランティア活動を通じて社会を批判的に見る目を育ててほしいと思う。

○委員2

パンフレットとランディングページも作っているので、後で見てください。

器がないことが不安だという学生が多く、「答えはない」ということから教えていく必要がある。

○委員長

大人が用意した器にはまりたくないと思うのが若者だと思っていたが、時代は変わってきた。

○委員3

先日、亀岡祭りの練習に参加している子どもの話を聞いた。ご年配の方から厳しく指導を受けながらも毎年参加し続けている理由を聞いたところ、最初は「図書カード 1,000 円や現金 1,500 円程度がもらえるから」という答えだった。亀岡イオンの金券ショップがなくなり、図書カードを現金に替えられなくなったという話も出ていた。何度か聞き直すと「他の小学校の人と仲良くなれる」「ワイワイして楽しい」「終わったらお別れ会がある」といった理由も出てきた。お金が最初の動機であっても、活動を通じて意識が変わる瞬間がある。金額の競争ではなく、意識づけを変える工夫ができればいいと思う。

○委員2

学生が亀岡で活動する際には、最低限交通費が必要だ。お弁当があると嬉しいという声もある。一番難しいのは、自分で企画させたときだ。ゼロベースでイベントを作らせると、少しでも否定的なニュアンスを伝えるとすぐにいなくなってしまうことが多い。これを防ぐには、1つは自分自身がしっかりした策を持つこと、2つめは周囲の人と準備段階からコミュニケーションを取ることの2つしかない。まちづくりの文脈では、「このテーマでこういうことをやってもらい、こういうことが習得できる」という可能性を示して拡散できれば、学生が来る可能性がある。理想は、学生自身がまちを変えたいと企画してエントリーしてくれることだが、そこに至るまでにはハードルがある。

○委員長

大人も同じで、地域の祭りの抽選会目当てで参加して、その中で関係ができて継続するケースがある。少額でも活動の中でもらうお金は嬉しいもので、それを入口に活動参加してくれたらと思う。反省会などを通じて「手伝って終わり」ではなく環境を作る場になっているのは、将来的にその人たちが次の担い手になることに繋がると思う。

○委員4

後任者が会長になってから4年見てきたが、学生は一言二言で右にも左にも振れてしまう。自分で考えさせるようにしたが、新しいメンバーが来ても2、3回で来なくなってしまう、最初からいた4人ほどがお友達状態でやっているのが現状だ。

楽しいことであれば参加する。私の団体ではツリーハウス作りを企画したが、なかなか進まない状況だ。高校生のような純粋な人を引っ張った方がいいのかもしれないとも感じている。

○委員2

何でもホームセンターで買うという発想がなく、廃材をもらうという感覚がない。「それは違う」と言う判断を否定されたように感じて止まってしまう。若いときからレビューを受けるくせをつけないと、人からの意見をプラスとマイナスに整理して目的に対してコーディネートできない人が増えてきている。正解ありきの教育の問題かもしれない。高校生はまず「習え」、その次は「やってみて」というところで優しく寄り添いながら考えるくせをつけさせることが、将来的に市民活動の良い担い手を育てるうえで重要だと思う。継続が一番の力になるので、若手ボランティアの育成においても考えていく必要がある。

○委員5

かめおか市民活動推進センターには現在 81 団体が登録されている。市民活動推進センター登録団体間の交流会や活動を披露できる場を作っていきたい。今年度中に市民活動推進フォーラムを実施したいと考えており、3 月頃の開催を想定している。センターとして何をすればいいか悩んでいる部分もあるので、この委員会の中でも協力できる人を募り、LINE グループを作って意見交換できればと思う。協力をお願いしたい。

○委員長

この場で言いっ放しではなく、汗もかくことが大事だ。市民活動推進フォーラムに学生にも参加してもらえると良い。

○委員5

学生にも参加してもらい、具体的な提案や協力をもらえたらと思う。今この場で決めるのは難しいため、LINE グループを活用して意見交換できればと思う。賛同する委員は LINE を交換してほしい。

○委員長

センターから協力のお願いと、一緒に取り組もうという提案があった。どうか。

○委員4

この委員会のメンバーだけでなく、登録している活動団体全体にも LINE グループを広げること、各団体がイベント案内や情報共有できるようになると良いと思う。

○委員5

收拾がつかなくなる場合もあるため、フォーラムに向けたグループと市民活動推進センター登録団体向けのグループは分けて運用することを検討する。

○委員長

まずはフォーラムに向けて、ここにいるメンバーで意見交換する場を作る。「市民活動推進フォーラム応援隊」として意見交換する LINE グループを作るので参加してほしい。今日欠席の方にも QR コードを送ってほしい。

○委員5

欠席の委員には QR コードのアドレスを送るので、転送をお願いする。

○委員長

まず目的を明確にしておいた方がいいと思う。市民活動推進フォーラム応援隊みたいな意見交換の場をラインで作るので、ご参加くださいというようなことでいいのかなと思う。

○事務局

学生が来るのに交通費は最低必要とのことだったが、必須か。

○委員2

交通費があると来る学生が増える。

○事務局

交通費は各団体で用意するべきものだと思う。交通費プラス自分が得られるものがあれば来る可能性が高いため、市民活動推進フォーラムの募集の際にその点を打ち出してみてもどうか。

いろんな団体が来るフォーラムを学生も一緒に作っているという形を見せることで、交通費を出してでも手伝ってほしいと思う団体も出てくるかもしれない。

○委員2

まずはフォーラムに来て、どんな市民活動をしている人がいるかをリアルに感じるころからだと思う。そこから継続的に関わりたいと思った学生と各団体が「お見合い」できるよう、各団体が条件を提示できる仕組みがあると良い。学生に刺さるような打ち出し方をすれば、自分の資金で来ることでもある。

○事務局

どのようにしたら学生に刺さるのかも議論してもらいたい。

○委員2

行政がらみのイベントは公務員志望の学生は来やすいが、一般企業志望の学生にはあまり人気が出ない傾向がある。福祉系の学生の方が来やすいかもしれない。地域のスポット活動では、企業スポンサーをつける方法をとっている。5 万、10 万円でも企業スポンサーがつけばイベントが実施できるとして、学生リーダーに企画を作らせ、スポンサーが集まらなければ中止というルール

にしている。集まった協賛金から経費を引いた金額が報酬になるという経済活動を学ばせているケースもある。内容次第でケースバイケースで対応している。

○委員長

市民活動でボランティアの学生に交通費を出すのは難しいが、参加者へのおにぎりやペットボトルを学生に配るだけでも十分だと思う。また、京都市や京都府でも大学生向けの補助金制度があるため、団体に応募すれば補助金を活用して活動できる。こういった助成の仕組みを情報提供していくことが一つの方法だ。

○委員長

重点課題の3項目については令和8年度以降、優先順位をつけながら取り組むことを確認した。今年度からかめおか市民活動推進センターの取り組みにこの委員会も加わり、市民活動推進フォーラムの応援を進めていく。

(2)令和7年度実施事業及び予定について

○委員長

令和7年度実施事業予定について、事務局から説明をお願いします。

○事務局

以下について説明。

令和7年度実施事業報告及び予定

令和7年度支えあいまちづくり協働支援金

令和7年度支えあいまちづくり協働支援金 活用団体見学報告

令和7年度市民活動見学会

○委員長

支援団体の活動現場に足を運んで見ることは、支援される側にとっても励みになる。応援の形としてお金だけでなく、現場に参加することも一つの応援の形だ。実際に行った人がいれば感想を聞かせてほしい。また、「ふるさと亀岡まちづくり応援交付金」への登録・申請がないのは残念だ。引き続き支援を続けていきたい。

○委員2

事務局が書いたレポートは臨場感があってわかりやすかった。写真もちゃんとあったので良かった。活動している方も200人とか400人とか、結構な規模でやっているのだから、私たちがサポートしている協働の活動のポータルサイトが欲しい。サイトでまとまっていないから、ここに来ないとわからないことが多く、全然行けていない自分が申し訳ないが、何かまとまっていると良いと思う。

この委員会で議論をしていると補助金・助成金もあるかもしれないし、こういう方が実際に活動してうまくいっているから話を聞いてみようかと自発的に動く人も出てくるかもしれない。単発でそれぞれの団体がアピールしているんだろうが、バックグラウンドにこの委員会があるということを知ってもらう必要がある。見る側の立場としてもまとまってほしいし、委員の役割を市民に知ってもらうためにもポータルがあった方が良いと思う。市役所のサイトにするとアピールに制限がかかるので、例えば市民活動推進センターで説明いただく形が良いと思う。読んでいてワクワクするので、出さないともったいない。

○委員5

前回のワークショップでもセンターのホームページ・広報の話が出ていたが、ホームページがすごく見にくい。活動報告やいろんな活動を紹介できるページは必ず必要だと思っているので、見やすいページに変えていくところからスタートしたいと思う。

○委員長

ぜひ検討してほしいが、ポータルにならなくても、この文章と写真だけで支援団体の活動レポートとして上げるのは難しいか。

○事務局

今回の写真については掲載の許可を取っていないので難しいが、内容自体は公開できるものは文書として公開できる。ただし、その方法については検討が必要だと思っている。

会議資料は公開する予定なので、会議資料という形での公開になるが、それでは見にくいので方法を考えたい。まとめのサイトを作るなど検討する。

○委員2

第一歩はPDFで貼るだけで良いと思う。ただ、切り口が市役所というワードではなく、テーマがキーワードとなって検索に引っかかるようなポータルを作っていく必要がある。市でもこういうことをやっているという気づきを得る機会を作るには、全く別の作り方をしないといけない。前のめりな人は市役所で補助金を探すが、そうじゃない人たちに「自分たちもできるかもしれない」と思わせるためには、切り口を変えてサイトを作る方が良いと思う。

○委員長

ポータルを作るのは大変なので、記事が1つ上がっているだけでも、活動している人にとっては大きなモチベーションになる。新聞に載ったり、Yahoo ニュースに出たりするとそれをリンクして活動報告するのと同じで、市役所の公的なサイトに自分たちの活動を紹介してもらえるというのは、活動している人にとって大事なことだ。ポータルという形でより広く情報を周知していく一方で、活動に参加している人たちの気運を醸成しモチベーションを高め維持していくという意味でも、市

役所のサイトに上げることはとても大きな支援になると思う。ぜひ検討してほしい。サイトにアップするだけの作業なので、担当課にコーナーを設けるか、市役所全体の市民活動のお知らせのところに活動報告として盛り込めたら良いと思う。ふるさと納税を使った亀岡まちづくり応援交付金について、現在登録している団体は何団体か。

○事務局

現在寄付を募集している団体は4団体で、そのうち2団体が今年度末で更新を迎える。更新対象の2団体とも「様子を見る」という判断だったので、来年は2団体になる予定だ。

○委員長

ふるさと亀岡まちづくり応援交付金を中止するというのはなかなか行政的にはできないようで、継続せざるをえなのか。

○事務局

継続せざるをえない部分もあるが、残る2団体は順調に寄付を集めているので、今やめるという選択はないと思っている。

○委員長

順調に集めている2団体の成功事例として伝えていく工夫はしているか。

○事務局

それは行っていない。

○委員2

手数料は何%か。

○事務局

現在、20%が亀岡市に、80%が団体に交付される。

○委員2

一般のクラウドファンディングとの差別化がどこにあるのかが気になる。露出は一般のクラウドファンディングの方が高く、手数料もイーブンか少し安いぐらいで、少し高いこともある。自治体という安心感で寄付を募りやすく、かつ手数料も安いとなれば増えると思う。小規模のキャンプファイヤーであれば10%、15%で受け付けてくれるし、文章のアドバイスやSEO対策のサポートもしてくれる。そこと比較されると、ここに頼むメリットが問われる。登録が楽というメリットはあるが、結局寄付を集めるのは自分たちだ。そこを楽にできるサポートがあって、登録すれば市役所が拡散してくれるとなれば増えるかもしれない。人間は基本的に楽できてお金が入ればそちらを選ぶので、

競合のベンチマークをした方が良いと思う。

○事務局

委員2をゲストとして「市民活動交流会」を12月4日に市役所の地下のアトリエで行う予定だ。委員の皆さんにもぜひ参加してほしい。

(3)令和 8 年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金について

○委員長

令和 8 年度の支えあいまちづくり協働支援金について、事務局から説明をお願いする。

○事務局

令和 8 年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金について説明。

○委員長

来年の支援金の準備を進めていくということで、現在検討中の修正点の説明があった。最終的には 2 月予定の第 4 回委員会で最終案を確認する予定だが、現時点で気づいた点や課題があれば意見を聞かせてほしい。

○委員1

かめおか市民活動推進センターの営業曜日はあるか。

○事務局

午前 9 時から午後 5 時までで、相談期間は 4 月 23 日(木)がガレリアかめおかの休館日となるため、その日を除く毎日だ。

○委員2

総予算はいくらか。1 団体 15 万円と書いてあるが。

○事務局

現在予算要望を行う時期だ。令和 7 年度は 2 団体追加の 90 万円で要望したが、最終的に 60 万円で決定した。今年も要望はするが、実際どうなるかはわからない。令和 8 年度も 60 万円になる可能性が高いと思っている。

○委員2

アピールポイントとして、総額がいくらで 1 団体最大 15 万円というのは見栄えが良い。スポーツの大会でも賞金付きの大会は総額でキャッチーに見せる。魅力的な 3 桁の金額になれば良いと思う。また、締め切りの表示が小さい。締め切りは一番大事で、危機感をあおるという意味で「限

定何団体まで」とか、予算の関係で書くと焦った人が申し込みや相談に来るという動きに変わると思う。

○事務局

締め切りについては、事前相談で4月30日までに来なかった場合、5月15日に提出されても受け付けられないため、4月30日を強調したいという思いで、締め切りをあまり大きく書いていなかった。

○委員2

4月30日までに相談に来ないといけないというのがわかりにくい。「事前相談必須・相談期限4月30日」というラベルを大きく表示した方が良いと思う。

○委員長

今日は確定ではないので、気づいた点があれば次回を待たずに連絡してほしい。また、知り合いの団体に来年もこういう支援金があることを伝えてもらえると助かる。予定していた3つの議題は終わった。その他に入る前に、議題1～3の中で気になったことがあればどうぞ。

○委員1

事業報告及び予定の中の市民活動見学会について教えてほしい。

○事務局

これから広報していく予定だ。現在ご協力いただける団体として、プロジェクト保津川、育ちとつながりの家ちとせ、南つつじヶ丘悠遊倶楽部、はるのひの4団体を予定している。応募した人が希望する場所に1か所行く形で、全部回るわけではない。広報前なのでどれくらい応募があるかはまだわからない。

○委員長

時間があればぜひ参加してほしい。

先ほど皆で応援しようと言った市民活動フォーラムの開催日・開催場所については、市役所とセンターの共催という形で、主にセンターで企画運営に入ることのようだが、開催内容の青写真があれば教えてほしい。

○委員5

まだ活動団体のPRの場・交流の場までしか考えていない。

去年は市民活動推進センター登録団体の意見交換だけだった。一去年はロビーで4～7団体ほどに発表してもらい、ロビーにパネル展を行い、大阪から講師を呼んで市民活動についてのセミナーを実施した。

○委員長

以前まちづくり博覧会があったが、そのことか。

○事務局

それは別で、市民力推進課がメインで行うイベントだ。今年は12月4日に中間報告交流会という形で市民活動交流会を開催する。委員2にゲストとして来てもらい、支援金の5団体に参加してもらう予定だ。

○委員長

その市民活動推進センター登録団体で今活動しているという団体が頭に浮かぶか。

○委員5

遊友ネットワーク、元気アップ体操あたりだ。外向けに呼びかけて活動しているのはそのあたりがメインだ。

○委員長

自分も勉強不足で、どういう団体が登録されてどんな活動をしているか全然わかっていないので、一度現状を学ぶ会のようなものを作ってほしい。

一通り議事が終わったところで、一言ずつ今日の話し合いの感想や、それぞれの活動についても話してほしい。

各委員 感想を述べる

○委員長

ありがとうございました。それでは事務局に進行を移します。

○事務局

本日は長時間にわたり、ご協議いただきありがとうございました。今後も積極的なご意見やご提案をもとに、協働の推進に活かしていきたいと思います。本日の委員会はこれにて終了します。

ありがとうございました。